



# 南の光明

The Catholic Diocese of Naha Newsletter

## 今年の教区の目標

すべての命を守るため、  
キリストと共なる  
平和の道を歩みましょう。

〒902-0067 那覇市安里3-7-2  
カトリック那覇教区本部  
TEL.098-863-2020 FAX.098-863-8474  
発行人 W.F.バート司教 1部40円  
<http://www.naha.catholic.jp/>

(1) 2020年3月1日 (毎月1日発行) カトリック那覇教区報 MINAMI NO KŌMYŌ 第736号 (3月号)

## 2020年四旬節教皇メッセージ 「キリストに代わってお願いします。神と和解させていただきなさい」 (Ⅱコリント5・20)



フランシスコ教皇

### 親愛なる兄弟姉妹の皆さん

イエスの死と復活という偉大な神秘を新たな心で記念するために備えるのにふさわしい季節を、主は今年もまた、わたしたちに与えておられます。この神秘こそが、個人、共同体としてのキリスト者の生活の礎です。わたしたちは心と思いを尽くして、絶えずその神秘に立ち返らなければなりません。

わたしたちがその霊的な力にすすんで関わり、広い心で自由に応えて受け入れるほど、その神秘はわたしたちのうちで広がり続けます。

### 一、過越の神秘、それは回心の基督

キリスト者の喜びは、イエスの死と復活の良い知らせ、すなわちケリユグマを聞いて受け入れることから生じます。ケリユグマは、「本物で、真実で、具体的なので、正直で豊かな対話に満ちた関係をもたらしてください」(使徒的勧告『キリストは生きています』117) 愛の神秘を要約しています。



この知らせを信じる人は、自分のいのちの源は自分自身にあるという偽りを退けます。いのちはまさに御父の愛から、いのちを豊かに与えたいという御父のみ旨からこそ生じます(ヨハネ十・10参照)。けれども、「偽り者の父」(同八・44参照)がそのかす声に耳を傾けるなら、不条理の深淵に陥り、この地上ですでに地獄を見る恐れがあります。人間が個人として、集団として経験したあまりにも多くの悲劇的な出来事が、痛ましくも物語っているとおりです。

ですからこの二〇二〇年の四旬節にあたり、わたしは使徒的勧告『キリストは生きています』の中で若者に向けて記したことを、あらゆるキリスト者と分かち合いたいと思います。

「十字架につけられたキリストの広げた腕を見つめなさい。幾度も幾度も繰り返して救っていただきなさい。そして自分の過ちを告白しようとするときは、罪の憂いから解き放ってください

キリストのあわれみを、固く信じてください。深い思いがこもった流れるその血をじつと見つめ、その血で清めていただきなさい。そうすればあなたは、つねに新たにされるでしょう」(123)。

イエスの過越は過去の出来事ではありません。聖霊の力によって、つねに今ここにある出来事です。そして、わたしたちが苦しんでいる多くの人々のうちに、信仰によってキリストのからだを見て触れられるようにしてください。

### 二、回心の緊急性、三、「自分の子らとの対話を望まれる神の熱意、四、独り占めせずに分かち合う富について、

と言及された教皇様は、文章の結びに「神と和解させていただきなさい」という呼びかけをわたしたちが受け入れ、過越の神秘を心の目で見つめ、神との開かれた真摯な対話に心を向けることができるよう、至聖なるマリアの執り成しをこの四旬節に願います。そうすればわたしたちも、キリストが弟子たちになるようにと言われた、地の塩、世の光(マタイ五・13・14参照)となることができるでしょう。」と述べておられます。四旬節の間に、教皇様の文書にも目を通して、教会が私たちに何を求め、それに私たちがどう応えて信仰の証しをしていけるのか考え、実践していきたいものです。

# Highlights of the February 11, 2020 Diocese Day!



Grateful and blessed for the faithful Service of Congrégation des Soeurs de l' Enfant-Jésus de Chauffailles and School Sisters of Notre Dame to the Diocese of Naha.



Celebrating the 60<sup>th</sup> and 50<sup>th</sup> Wedding Anniversary of Lay Faithful.



## Donation of Love

This season of Lent, you will see at the bulletin board of your Church the poster and the different translation of the Message of His Excellency Archbishop Tarcisio Isao Kikuchi, President of Caritas Japan. His message calls us to participate in the yearly fundraising activity of Caritas Japan “Donation of Love”, during the season of Lent. The contribution you give is essential not only for emergency disaster relief, but also to assist those whose lives are on crisis here and abroad. Caritas Japan’s activities are supported by your donations throughout the year, and one third of that annual support comes through this Lenten collection. Lent is a time to show the Father’s mercy to all people. It is a time to bring forth hope for life. The tradition of the Church calls on us during Lent to reexamine our faith from three points: prayer, abstinence, and works of love. His Excellency further quoted Pope Francis during his meeting with the survivors of the triple disaster in Tohoku, that “Without basic resources such as food, clothing and shelter, it is not possible to live a worthy life and have the bare minimum needed to succeed in rebuilding.

No one rebuilds by himself or herself, nobody can start over alone. We have to find a friendly and fraternal hand capable of helping to raise not just a city, but also our horizon and our hope.”

At this season of Lent as we give to Caritas Donation of Love, may we reflect that maybe we are the giver because we have receive the graces from Him who is the origin of this Mission. May our graces be not ours to keep, but may we find it in our hearts to share our graces received in the service of Him who calls to us to be the channel of His grace to others.

Mercy Cristobal  
Diocese of Naha- Caritas Japan Coordinator

2020年2月11日 教区の日



開南教会の譜久里勝秀（代理の娘さん）・珠子ご夫妻



久保田富雄（代理の息子さん）・陽子ご夫妻



篠原昭夫・光子ご夫妻



上原シソー・テレシータご夫妻



石垣吉民・幸子ご夫妻



教区の日では、生年祝いの方々にプレゼントが用意されており、今年の干支のねずみ年生まれの方々に、ウェイン司教様からプレゼントが贈られた。また例年司祭修道者の叙階や誓願宣立金祝や銀祝がお祝いされるが、本年は司祭修道者に該当者がおられず、信徒の婚姻50周年の金婚祝と60周年のダイヤモンド婚に該当するご夫妻に司教からの祝福と記念品が贈られた。金婚のお祝いは小禄教会の久保田富雄・陽子ご夫妻、読谷教会の上原シソー・テレシータご夫妻、石垣教会の石垣吉民・幸子ご夫妻、出席は叶わなかったが、宮古島平良教会の天久宏・ヨシ子ご夫妻に贈られ、ダイヤモンド婚のお祝いは開南教会の譜久里勝秀・珠子ご夫妻と首里教会の篠原昭夫・光子ご夫妻に贈られた。

加えて、今年度で沖縄での奉仕に区切りをつけ、それぞれの修道会本部に戻られるノートルダム教育修道女会とショファイユの幼きイエズス修道会にウェイン司教から感謝状と共に、琉球の聖母と聖家族の絵が記念品として贈呈された。両修道会からは管区長と共に、沖縄とゆかりの深かったシスターたちもご参列くださり、東の間の思い出話に会場のあちらこちらで花が咲いた。



よき臨終の保護者聖ヨゼフ  
わたしたちのために  
お取り次ぎください

藤澤 幾義 神父  
宮古島平良教会 主任司祭



聖ヨゼフは、マリア様と婚約して、御子イエスの養父として聖家族を構成し、マリア様と共に人類の贖いに貢献されました。でも、ヨゼフ様は、マタイ福音書によると「母マリアはヨゼフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。夫ヨゼフは正しい人であったので、マリ

も大変な思いをされ、「宿屋にはかれらの泊まる場所がなかった」(ルカ二・7)と、福音書が伝えるように、家畜小屋でのイエス様の誕生は彼らにとつては耐えがたい思いをされたに違いありません。しかしながら、マリア様とヨゼフ様には深い信仰がありました。神のみ旨にすべてをゆだねた二人の信仰は、マリア様の救い主の母になるとの天使への応答「わたしは、主のはしためです。おことば通りこの身になりますように」(ルカ一・38)とのことばどおり、ヨゼフ様も同じ深い信仰だったのです。

続いてマタイ福音書で、ヘロデが死ぬと主の天使が夢に現れ、「子供とその母親を連れ、イスラエルの地に行きなさい」(マタイ二・20)と告げられ、ナザレに帰って住むことになりました。

それから、聖ヨゼフの帰天については、聖書には全く何も記されていませんが、ナザレでのイエス様の私生活中に亡くなったと推測されます。聖ヨゼフは静かで穏やかな臨終を迎えられたことでしょう。なぜなら、イエス様とマリア様に見守られながらこの世の生涯の最期だったからです。聖ヨゼフはよき臨終の保護者になっていますが、それは聖ヨゼフがイエス様、マリア様に見守られながら神のもとへ帰られたからです。聖ヨゼフの取り次ぎを願うならば、安らかな臨終を迎えることができる教会は教えているのはそのためです。

教会は主の復活祭を迎える準備期間、四旬節を迎えています。主のご受難ご死去に心を向け、黙想しながら、主の復活祭を迎える準備の期間です。その四旬節中の三月は、ご存知のように聖ヨゼフに捧げられた月でもあります。聖ヨゼフは、教会の保護者として非常に大きな役割を果たしている聖人です。しかしながら、その聖ヨゼフについては、聖書中にはあまり出てきませんが、聖伝を通して、聖ヨゼフの偉大さ、聖ヨゼフが果たした役割の大きさを知ることができます。

アのことを表さたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した(マタイ一・18〜19)とありま

また、三人の博士たちの到来によって「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこに」(マタイ二・2)との博士たちの質問で、王である救い主の誕生を知ったヘロデの二歳以下の男子の幼な子殺害「ヘロデ王が、この子を探し出して殺そうとしている」(マタイ二・13)のたくらみを夢に知らさ

ナザレでは、ヨゼフ様は専門職のさしもの大工として、農具を作ったり生活に必要な家具などを作ったりする職業で生計を立てられ、静かなナザレでの生活が営まれたことでしょう。養父として、少年になったイエス様にも大工の仕事

ナザレでは、ヨゼフ様は専門職のさしもの大工として、農具を作ったり生活に必要な家具などを作ったりする職業で生計を立てられ、静かなナザレでの生活が営まれたことでしょう。養父として、少年になったイエス様にも大工の仕事

NPO 法人ぶどう園の会  
訪問看護ステーションクララ  
TEL&FAX:098-937-5001  
住所 沖縄市泡瀬2丁目37-15  
・基本受付 月曜日～金曜日(申込、相談など)  
・営業時間 8:30～17:30  
・営業日 24時間365日(緊急対応含む)

令和二年元旦の平良教会の短冊に記された名言葉は、「赦しなさいそうすればあなたも赦される」「柔和な人は幸いである」の二つだった。私は少し迷って「柔和な人は幸いである」を選んだ。この一年を感謝にあふれた笑顔の日々にしよう、と自分に言い聞かせながら大事に持ち帰り、床の間の飾り棚に置いた。

笑顔のきれいな人に会うと気持ちほっこりし、こちらまで笑顔になり幸せな気分になる。そして私もこんな笑顔の素敵な人でありたいと思う。

しかしながら「言うは易く行は難し」で、いつも柔和な笑顔でいられることは容易ではなく、時々主人に言われる。「苦虫を嘔み潰したような顔をするんじゃない」と。そんな時は負けじと「どなたがそうさせたんですか」と言い返したりするが、しばらくして我に返ると、泣きたいような恥ずかしいような複雑な気持ちになり、自己嫌悪

## たて軸よこ軸 ささやかな祈りの中で

宮古島平良教会 天久ヨシ子

さえ感じてしまう。そしてどこからか聞こえてくる、「何の不足があるのですか。私は十分すぎるほど与えている。足るを知りなさい」という神様の声が。

「イエス様、ごめんなさい。悔い改めます。これからは感謝の心を忘れず、笑顔絶やさないようにします」。そんなことを幾度繰り返した事か。教会へ足を運ぶようになってどれくらいの月日が経ったのか定かではない。

主日のごミサに与るのが精一杯の私は、ただたくくヨチヨチ歩き信仰生活だ。未熟ではあるが、司祭や信徒の皆さんのおかげで少しは信者らしくなれている。主人も年を重ね、身体も弱くなって、教会へ足を運ばなくなって久しい。また元気になって一緒に教会で祈れたらどんなにいいだろう、と叶わぬ思いを抱いた。

好きな聖句の一つに「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなときにも感謝しなさい」がある。小さな祈りでも続けていれば、いつしか心は柔和になり、微笑を絶やさない生き方が出来るかもしれない。いろんな人との交わりの中で、キリストの平和を共にし、短冊に記された「柔和な人は幸いである」をいつも思い起こし、赦しゆるさ

れ、感謝と笑顔の一年にしたいと念じている。

### 四旬節あれこれ

#### 大齋・小齋

大齋(だいさい)はイエス・キリストの受難に心をはせるために行う食事制限のことで、「二日に一回十分な食事を摂り、あとの二食は少ない量に抑えること」が基本的な形です。第二バチカン公会議以降は、四旬節中の灰の水曜日と聖金曜日に行うことが求められています。しかし、病人や妊娠中の者、特別な事情がある場合は免除されます。六十歳未満の健康な信徒が対象となります。

小齋(しょうさい)は肉類を食べないことです。これは、各自の判断で他の償いの形、愛徳のわざ、信心業、節制のわざの実行をもって替えることができます。満十四歳以上の人が守ります。

#### 十字架の道行き

十字架の道行は、キリストの受難をしのび黙想する信心で、聖なる十字架によって世をあがなわれたキリストの歩まれた道程を浮き彫りにしてくれます。

#### 愛の献金

四旬節は、まさしく御父の

いつくしみを多くの人に具体的に示す時です。互いに支え合っている姿を具体的に生きる時です。いのちを生きる希望を具体的に生み出す時です。教会の伝統は、四旬節において「祈りと節制と愛の業」という三点をもって、信仰を見つめ直すようにわたしたちに呼びかけています。四旬節の献金は、犠牲としてささげる心をもって行う愛の業に他なりません。この四十日の間、犠牲の心をもって献金にご協力くださり、教会の愛の業とともに参加していただきますようにお願いいたします。

## 那覇教区子どもと女性の権利を擁護するデスク

教皇様の教令により、2020年6月までに各教区に「子どもと女性の権利を擁護するデスク」を設置することになりました。那覇教区では以前から時間をかけて準備を進め、このデスクを設置しました。



相談窓口: 098-863-2020 (火・水・木 13:00~17:00)



# 那覇教区平和委員会



## 1月例会の報告 憎まれっ子世に憚る

平和委員会の1月例会は1月26日(日)、カトリック安里教会で、名城大学名誉教授与那覇恵子氏を講師としてお迎えした。演題は「なぜ安倍政権は長期政権か？」副題として「沖縄からみえるもの」である。

第一次安倍政権は2006年9月に発足したが、自身の体調の不良などで、わずか1年で終わった。その後安倍氏は、民主党政権下の2012年9月に自民党総裁選に勝利する。同年12月に自民党が政権与党に返り咲いたことで、第二次安倍政権が発足。それから7年が経過し、安倍政権は憲政史上、最長の内閣になった。

長期政権の弊害である驕り、緩みと綻びが沢山の不祥事を生み出した。それが森友・加計問題、「桜を見る会」等の「お友達」を優遇する、政治の私物化である。虚偽と欺瞞の国会答弁。公文書の改ざん、隠蔽がまかり通る。政治家と官僚の劣化が起っている。

与那覇恵子氏は安倍政権下での悪法を列挙する。①国民投票法(憲法改悪の第一歩) ②特別秘密保護法(秘密指定が不明瞭・国民への情報非公開) ③武器輸出禁止の原則廃止(軍事産業への参入) ④社会保障改革プログラム(国の社会保障の義務放棄) ⑤改正国民投票法(投票権18歳・公務員・教育者運動禁止) ⑥安保保証関連法(恒常的な海外派兵が可能に) ⑦軍事的研究への資金援助(防衛省研究助成制度助成金20倍増) ⑧医療保険改革法(医療費抑制: 医療費引き下げ競争) ⑨安全保障関連法案(集団的自衛権: 米国の戦争への参加) ⑩改正刑事訴訟法(通信傍受拡大・可視化より司法取引) ⑪核不拡散条約否認(米国とともに核不拡散を拒否) ⑫国民年金法改正案(物価上昇に無関係な年金減額) ⑬カジノ法案(不十分な依存症対処・対象客8割日本人) ⑭共謀罪(監視社会。言論、思想の弾圧) ⑮主要農作物種子法廃止(多国籍企業が種子を独占) ⑯働き方改革法案(企業が喜ぶ残業代ゼロ法案) ⑰国民投票法改正案(一括投票、1~2ヵ月周知期間、有効投票の過半数「最低ライン無」広告宣伝費無規制) ⑱放送法撤廃(放送の政治的公平・事実を曲げないが邪魔) ⑲教員免許「国家資格化」(政府が教員を握る国家統制教育)。

これらいわゆる悪法から浮かび上がってくるのは強権的で、好戦的な安倍政権である。国民投票法改正案、武器輸出禁止の原則廃止、安保保障関連法、そして核不拡散条約否認等で外堀をドン・ドン埋めて、大本命である憲法9条という本丸に乗り込む。そして我が国を戦争ができる国にすることに邁進しているのだ。

沖縄から見えるもの、沖縄からしか見えない風景がある。沖縄は先の大戦で、本土防衛の時間稼ぎのために「捨て石」とされた。そして米軍との激しい地上戦で島民の4人に1人が亡くなっている。だが「捨て石」としての差別的構図は今も続いている。日本

の米軍基地の70%が今も沖縄に集中している。安倍政権は沖縄の民意を無視して、辺野古に新基地を作ることに躍起になっている。忘れてならないのは、有事の際に真っ先にターゲットにされるのは基地が集中している沖縄なのだ。辺野古新基地建設は「第二の捨て石作戦」なのだ。

かくほど左様に安倍政権はひどい政権でありながら、高支持率と長期政権を誇っている。理解しがたいことがおこっているのだ。与那覇恵子氏は「何故、安倍政権は長期政権なのか？」に次のように答えている。①かつての民主党政権への失望 ②野党に対する信頼感のなさを挙げている。それは自民党一強につながっていく。③若者の政治的無知・無関心と表層的思考をあげている。新聞を読まない世代が生まれてきている。彼らが頼りにしているのがSNSだ。SNSで拡散しているニュースはフェイクニュースであり、ヘイトスピーチだ。○基地建設前の普天間には何もなかった。基地ができてから周りに住む沖縄人が悪い。○ニュース女子のニュースのねつ造。○辺野古で反対運動しているのは左翼で、暴力的。また運動している人たちはお金を貰っている。○沖縄土人・福島土人 ○ジョギングするのが悪い(レイプ事件) ○保育園の落下物は誰かが前もって置いたもの ○翁長知事は中国のスパイ ○北朝鮮や中国の脅威を煽る。④ポピュリズムと続く。(注1) ○新元号発表だけで10%も安倍政権支持率を上げる国民。○森友・加計問題、不正統計問題、レイプ事件山口、桜を見る会、など権力の私物化と虚偽発言の政権に40%台の支持率を与え続ける国民。○「(どうせ)国民はすぐ忘れる」「私が国家だ」と豪語する安倍首相や「私が忖度した」と言いふらす官僚(現職生田文科相)に怒らない国民。

与那覇氏は、平和ボケし、危機感が欠如している日本国民に、沖縄から怒りの声を挙げる。平和憲法よりも日米安全保障条約を重視し、地位協定の不平等を容認し、国民を戦争に巻き込もうとしている安倍政権に怒っているのだ。

(平和委員 稲福捷夫)

(注1) ポピュリズムとは本来大衆迎合主義と訳され、トランプ大統領がツイッターで「アメリカ第一」などと大衆が聞きたいことを言うことなどを言うが、近年ポピュリズムが台頭しているのは、インターネット、特にSNSの影響が大きい。かつて政治家以外で政治的意見を表明できるのは、新聞社、テレビ局というマスコミに限られていた。ところがSNSの普及によって、全国民が気軽に政治的意見を表明できるようになった。選挙で政治家を選ぶ民主主義国家では、政治家がネット世論を気にせず政策を決めるのは難しい。

### 「パードレ・ピオの集い」開催

日 時：2020年3月18日(水) 午前10時～午後2時  
場 所：カトリック普天間教会  
指導司祭：ペトロ・ヴォン・エッセン神父(カブチン会)  
弁当持参(当日の湯茶と弁当20個位の準備はできます)

連絡係：屋宜留美子(石川教会) 090-6857-7321  
比嘉須賀子(首里教会) 070-5813-2557



### 那覇教区平和委員会



一日黙想会への誘い

日 時：3月21日(土)10時～4時半  
場 所：クララ修道院(与那原)  
講 師：ウェイン・フランシス・バートン司教  
参 加 費：1,000円(弁当代と資料代)  
締 切 日：3月15日(日)  
参加人員：60人(定員に達しだい締め切り)

FAX.098-945-8720 クララ修道院  
(小教区ごとに纏めてファックスにて申し込みください)

カトリック那覇教区平和委員会 問い合わせ ☎090-1949-6569 (稲福)

教区 NEWS 教会

教区女性の会新年会に参加して

石川教会

一月十八日午後、安里教会で楽しみにしていた新年会が始まりました。

まず、ウエイン司教様の講話から始まり、二〇二〇年の那覇教区目標は「すべての命を守るため、キリストと共なる平和の道を歩みましょう」でした。



各教会の団結と仲の良さが感じられ、楽しい新年会でした。

「キリストによって、キリストと共に、キリストのうちに」とミサで唱えるお言葉どおり、忠実にキリストの平和の道を歩むために、「キリストと一致している状況が重要なのです」と述べておられました。勉強になりました。

その後、女性の会による新年会が始まり、普天間教会がコーラスを披露しました。私が個人的に良かった曲は「上を向いて歩こう」でした。皆さんとても明るい表情で歌っていました。

次に小祿教会から見応えのある日舞。スペシャルゲストとして、白井さんによるインドの楽器シターを初めて聴きました。とてもきれいで趣のある音色でした。

最後に司教様、クレーバー神父様、稲国神父様、集まった信徒の方々と共に手を合わせて「ニフェーデービル」を皆さんで踊りました。

各教会の団結と仲の良さが感じられ、楽しい新年会でした。

(石川教会 代議員伊波里奈)

那覇教区の兄弟姉妹の皆さん、ちむがなさ 司教からのお知らせ

1. 皆さんは新型コロナウイルスについてのテレビや新聞のニュースを真剣に聞いていると思います。新型コロナウイルス感染を予防するため、那覇教区の学校や小教区に新型コロナウイルス予防ガイドラインを配りました。患者さんの回復のために祈りながら、各小教区でガイドラインを守りつつ、一日も早く治療法を発見することができるように祈り求めましょう。
2. カテキスタ養成の新しい担当者にシスタールチア中村睦子を任命しました。シスタールチアが中心となってカテキスタ養成プログラムを作成してから拡大司祭・助祭会議や信徒評議会で皆さんに説明し、実施していきたいと考えています。
3. 早いもので、2月26日の灰の水曜日からは四旬節に入りました。この季節では回心の祈りと生活の反省を大切にします。自分の至らなさ、過ちなどを悔い、そして神と共なる生活に立ち返るために、回心の祈りを唱えながら福音に生きる決心をしましょう。
4. 全世界のカトリック教会は、聖職者による性的虐待があったことを認め、回心の祈り、償い、反省をしながら、二度と同じ過ちを繰り返さないために、教育、研修、予防のルールを作成し、徹底的に子どもや弱者を守るように努力しています。そのため毎年、四旬節の第二金曜日を「性虐待被害者のための祈りと償いの日」と定め、各教区での取り組みを促しており、特別ミサを捧げることもできます。私は3月13日に安里教会(朝6:30)でのミサをこの意向で捧げます。3月3日の拡大司祭・助祭の会議で、償いと癒しのミサ式文を配りますので、心を合わせてお祈りください。
5. ローマ教皇様の教令により、2020年6月までに各教区に「子どもと女性の権利を擁護するデスク」を設置することになりました。那覇教区では以前から時間をかけて準備を進め、このデスクを設置しました。  
那覇教区子どもと女性の権利を擁護するデスク係  
電話番号 098-863-2020  
火・水・木 13:00~17:00
6. 監督官庁の要請によりかなり前から各幼稚園や学校にハラスメント防止ルールを策定し、周知してきましたが、今回は上記4、5.に関連して各小教区のためのハラスメント防止ルールを策定し、配布します。拡大司祭・助祭会議で神父様方にルールを説明してから配布しますので、各小教区で掲示し周知を図ってください。

四旬節の特別な期間にキリストの復活をお祝いする準備を共にしましょう。多くの方が復活祭で入信の秘跡、洗礼・堅信・ご聖体を受けます。彼らと共に教区目標、「すべての命を守るため、キリストと共なる平和の道を歩みましょう」を黙想しながら復活されたキリストの平和、喜び、そして愛を深く味わい、信仰の歩みを新たにしましょう。

## キアラ・ルービック 生誕100周年を祝う集い

フォコラーレ運動の創立者「キアラ」の精神に出会うために

**3月15日(日) 与那原カトリック教会 15:00~18:00**

15時：集い(与那原修道院) 17時：ミサ(聖堂)  
司式 ウェイン・フランシス・バート司牧

CHIARA  
LUBICH  
1920  
2020



キアラ・ルービックは、カトリック教会内、諸キリスト教の間、諸宗教の方々と、そして特定の宗教を持たない、善意で生きるすべての方との対話を通して、一致した世界を築くために生涯をかけました。分裂や争いが絶えない現在において、普遍的兄弟愛を目指す、キアラのメッセージを改めて思い起こし、平和の実現のために、私たちに今、何ができるかを一緒に考えたいと思います。皆様の参加をお待ちしています。



フォコラーレ  
沖縄お問い合わせ 赤嶺 098-850-2355  
focolare.org/japan





# JYD Japan Youth Day 2020

**Christus vivit!! それでも私はキリストと生きる**

**全国カトリック青年大会**  
1996年以来24年ぶりのカトリック青年の全国大会開催!  
同じ国で、同じキリストを信じる多くの仲間に出会い、つながろう。楽しみましょう。日本カトリック青年会として生き生きとした活動も、思いやりの心、愛を分かち合おう。人生の目標を定め、同じ歩みを行く仲間たちと、楽しく旅をしながら人生最高のゴールデンプランニングを一緒に楽しみます。たくさんのご参加をお待ちしています。

**2020.5.2 Sat / 15:00- → 5 Tue / 12:00 [3泊4日]**  
富士箱根ランド(静岡県田方郡函南町森原1354)  
主催/ JapanYouthDay実行委員会 協賛/カトリック青年会連合会

定員 / 500名  
対象 / 青年(18歳~35歳) 外国人の参加も歓迎!  
参加費 / 15,000円  
お問い合わせ / japanyouthday2020@gmail.com

申し込みはこちらから  
右のQRコードから  
ご応募ください





計 報

- ◆ 泡瀬教会  
ヨセフ 伊良部 恵勝 様  
二〇二〇年一月二十八日帰天  
享年八十四歳
- ◆ 愛楽園教会  
マルコ 上間 徳一様  
二〇二〇年二月三日帰天  
享年八十六歳
- ◆ アンナ 平良 ヨシ 様  
二〇二〇年二月五日帰天  
享年九十三歳
- ◆ 与那原教会  
ルドビコ 佐藤 昭夫 様  
二〇二〇年二月五日帰天  
享年六十九歳
- ◆ 開南教会  
マヌエル 坂元 厚 様  
二〇二〇年二月二十七日帰天  
享年六十六歳
- ◆ コザ教会  
アグネス 喜屋武 幸子 様  
二〇二〇年二月二十七日帰天  
享年八十九歳

### 洗礼 おめでとうございます

**コザ教会** 2019年12月22日

1. Andres Miguel Tenebro Rusurrection (生: 2019年9月29日)
2. Joseph Darelle Akio Lingco (生: 2019年7月31日)
3. John Ichiro Borrromeo Briones (生: 2019年9月6日)
4. James Daigo Borrromeo Briones (生: 2019年9月6日)
5. Jacob Kaito Borrromeo Briones (生: 2019年9月6日)

**安里教会** 2020年2月1日  
アシジの聖フランシスコ 當間雅信



## 「やすらい企画」

葬祭の

「やすらい企画」

私たちは故人とご遺族の意向を最優先に考えます。何でもご相談下さい。

那覇市首里鳥掘町4-57-3  
TEL&FAX:098-885-8205  
http://w1.nirai.ne.jp/yasurai  
E-mail:yasurai@nirai.ne.jp

24時間  
受付

~ご遺族の心をもって奉仕する~  
そうてんしゃ

## 葬 典 社

- \* 創業30数年・・・。
- \* 皆様に支えられ「感謝」とともに人生を閉じるためのお手伝いをさせていただいております。
- \* ご質問、ご相談、24時間、いつでもお電話下さい。

「ゆうなの会」会員募集中です。

24時間  
受付

ひが たかしげ  
(実務担当) 比嘉 高茂

てんごく  
**☎098-853-1059**

